最上町歴史ロマンをほっする会

回覧

会報

第 97 号

発行日
R7.1.8.

歴史をつなぐ　赤倉集落学習会

12月10日(火)9:30～

貞観5年（863年）慈覚大師,円仁が、東北巡錫(じゅんしゃく→錫杖を持って巡業すること)の途中発見したと伝えられる赤倉温泉、この年は東善院を開山したと伝えられる年でありこの地域の開闢の年であったと言えます。

地域の中心部に位置する薬師神社も、温泉を発見したときに彫られた薬師三尊を祀って建てられたと言い伝えられています。温泉の中央地,湯沢屋さんの裏手に階段があり崖を登りきると、りっぱなお堂があり、その薬師三尊様が鎮座しておられました。境内には湯殿山などの石碑や、この神社の謂れなどを記した立派な看板等が建てられていました。このお堂は平成15年に建て替えたとのことで入り口の欄間の彫刻や格天井なども見事なものでした。毎年の初め、地域の人たちはこの神社のお斎灯まつりを催しています。神社への深い思いが伝わります。この境内からは周りの山々が見渡せますが、ここには山神社が多くあったとのこと。昔から修験者などの行き交う信仰の地であり、癒しの湯であったのでしょう。多くの人達で賑わう様子が想像されます。

美しい格天井

↗鎮座する薬師三尊

薬師神社を後にして、赤倉地区公民館（旧月楯小学校）に向かい話し合いに入りました。地域の方々からも多く参加していただき、貴重な昔の話や言い伝えなどをお聞きしました。

欄間の彫り物 ↘

赤倉地区は、阿部家、大場家、高橋家など33間の家の人々から始まったと伝わっているとのことです。長い歴史の中で、これらの家の人達は一定の役割を果たし地域を守ってきたものと思われます。

慈覚大師がこの地に来た時、この地の人が馬をお湯で洗っていたことから、富沢の馬頭観音を授けられたという言い伝えがあるように、この地は馬産地としても昔から盛んで、田代峠を越えて宮城県側とも馬の貸し借りや売買などで交流が盛んだったとのことです。今でこそ国道が通り宮城県側とは鳴子温泉との関わりを思い浮かべますが、田代峠のほうが昔はなじみがあったのではないかと思いました。

どこの地区にも地域の外れには庚申塚があり、庚申様の信仰や行事が熱心に行われてきた歴史がありますが、その風習は全く知る人がいなくなりました。ところが、赤倉地区では平成10年頃まで行われていたとのこと。その時に使っていた道具や用具など一式を湯沢屋さんから見せていただき、伝説でしか聞いていなかったその風習を現実のものとして認識でき感動しました。そのほかたくさんの赤倉地区の話を聞くことができ、大変勉強になりました。赤倉地区の皆さんご協力ありがとうございました。（文　小嶋智恵）

シリーズ　小国三十三観音巡り　⑫

如意輪観音

十八番　　（六臂）如意輪観音　山城国　六角堂（徳応寺）

月楯小学校の前に建つ「六社明神」のところでカーブし、進むと「大壇の碑」があります。600余年も経ているかと考えられる程古いもので最上町の歴史をさぐることのできる貴重な史料で、町文化財になっています。月楯集落東の一番はずれに禅寺・徳応寺があります。そこに、十八番の観音様が祀られております。

このお寺は天徳寺の末寺で、元禄8年(1695年)の開山と伝えられており、以前はそこに地蔵堂が建っていたそうです。そのご本尊は「黒衣地蔵」(くろじぞう)と呼ばれ生き地蔵と信仰されました。その地蔵さまもこの寺に祀られています。参道の左右に墓碑が立ち、前庭の左手に板碑や石仏が並んでおり、その奥まったところに如意輪観音の石仏が鎮座しています。

十九番　　千手観音　山城国　革堂（月楯弁天堂・厳島神社）

ここは、小国草分けの伝説を秘める「月楯山大明神」、普通「月楯弁天」と呼んでいるお堂のある山で、鳥居の額は厳島神社となっています。階段を登る途中珍しいむし歯観音の標柱があります。十九番の石仏は境内のあすなろの大木の左に祀られており、その他小さな石碑も並んでおります。このお堂の創立した年代は不明ですが、その由緒は「弁天縁起」に書かれている田沢内匠介と小国草分けの伝説にあります。お堂は、150年くらい前、再建され、再建には出羽の勘七の二番目の弟子（菅林右エ門）が関わっていたようで欄間の彫刻や格天井の絵も素晴らしく、歴史を語っています。また、絵馬も興味深いものがあります。一番驚くのは300体もあろうかと思われる木造仏で、形・大(35cm)小(15cm)様々に刻まれた諸仏像は(円空仏のようだ・武田好吉氏)まさに群像です。これは、天明の頃、三十八代目の法印良巡が千体仏を刻み祈願したということです。東北の大凶作・飢饉にあえぐ人々を案じ、世を救おうと心がけたと思われています。ご神体を蛇に形どりしたものや、新庄藩の家紋のあるもの、白蛇絵馬があり歴史を物語るものが数多くあります。月楯集落には「楯山」を始め楯のつく地名が多く、曾楯・堀の畑楯・赤楯・月見の楯・物見の楯があります。古さを語る地名や神社,墓地,墓碑も多く、田沢屋敷・田沢川・諏訪神社・大壇の碑等があります。

(文　二戸　拓)

とんと昔この会

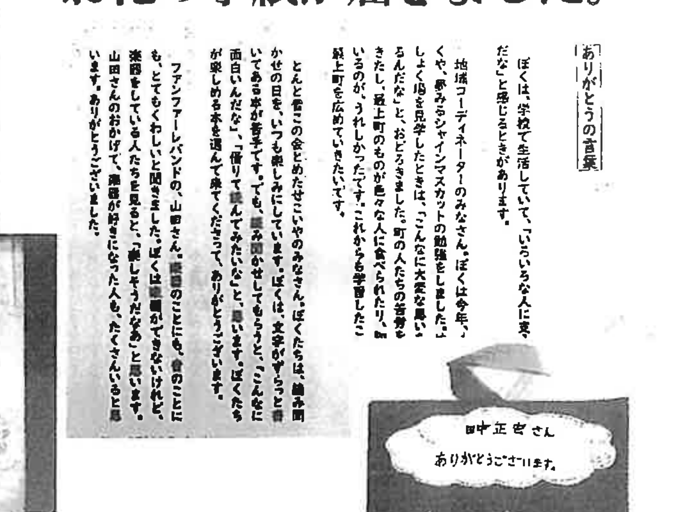
大堀小学校での昔語り　12月4日

↗　熱心にお話を聞く大堀小の子供達

向町小学校から

とんと昔この会部長の田中政宏さん宛に

お礼の手紙が届きました。



「ありがとうの言葉」

ぼくは、学校で生活していて、「いろいろな人に支
だな」と感じるときがあります。

地域コーディネーターのみなさん。ぼくは今年、ノ
くや、夢みるシャインマスカットの勉強をしました。よ
しょく場を見学したときは、「こんなに大変な思い
るんだな」と、おどろきました。町の人たちの苦労を
きたし、最上町のものが色々な人に食べられたり、
いるのが、うれしかったです。これからも学習したこ
最上町を広めていきたいです。

とんと昔この会とめたせこいやのみなさん。ぼくたちは、読み聞かせの日を、いつも楽しみにしています。ぼくは、文字がずらっと書いてある本が苦手です。でも、読み聞かせしてもらうと、「こんなに面白いんだな」、「借りて読んでみたいな」と、思います。ぼくたちが楽しめる本を選んで来てくださって、ありがとうございます。

ファンファーレバンドの、山田さん。楽器のことにも、音のことにも、とてもくわしいと聞きました。ぼくは楽器ができないけれど、楽器をしている人たちを見ると、「楽しそうだなあ」と思います。山田さんのおかげで、楽器が好きになった人も、たくさんいると思います。ありがとうございました。